

中3国語 出題のねらいと対策

1 漢字の読み書き 67.5%

ねらい：漢字の正しい読み書きがしっかりとできるかを問う。

分析と対策：漢字の書き取りでは、一画一画でいねいに書くということを心がけてください。また、「装う」のようなことばでは、送り仮名にも注意が必要です。「勤める」は、同じ訓読みをする「務める」「努める」との区別に注意しましょう。

2 品詞の識別 38.7%

ねらい：品詞の分類についての知識を問う。

分析と対策：十一種類の品詞の一つ一つについて、それぞれがどのような特徴を持っているのかをよく頭に入れて、できるだけ数多くの類題をこなすことが大切です。自立語か付属語か、活用があるかないか、文中での働きは何か、などに着目して、まぎらわしいものも判別できるようにしておきましょう。

3 文学的文章の読解 73.8%

ねらい：比喻表現などの文章の細部から読み取れる筆者の考えや心情の把握がしっかりとできているかを問う。

分析と対策：本文は、杉の木について、筆者である「私」の思いが述べられた文章です。副詞の適所補充問題です。被修飾語となっていることばとのつながりをまず考えましょう。比喻によって表現されている内容を把握する問題ですが、比喻表現だけからではなく、前後に描かれている様子と合わせて考

えるようにするとよいでしょう。

「経済効率」ということばの意味をきちんと押さえてください。本文中で述べられている「私」の中心的心情を把握する問題です。本文の主題の把握にもつながりますので、しっかりととらえましょう。

4 説明的文章の読解 66.2%

ねらい：文章全体を通して筆者が述べようとしている要旨の把握や、指示語の指示内容の把握など、基本的な読解の力を問う。

分析と対策：本文では、筆者がチベット人の世界で学んだ死生観が中心的に述べられています。死が抽象化し、リアリティを失っている現在の日本との比較・対照に着目しながら、読み進めましょう。指示語の指示内容をとらえる問題です。選択肢の内容を、実際に指示語の部分にあてはめて文脈を追ってみましょう。「観念」「具体」などは、文中の「抽象」などととも、説明文ではよく用いられることばですので、意味を覚えておきましょう。「正規戦」という比喻表現の意味をとらえる問題です。これと対比されている「ゲリラ戦」との対比をしっかりととらえましょう。文章の要旨を確認する問題です。選択肢の内容を吟味して、文中のどの部分に合致するのか、また、合致しないのかを考えましょう。

全体の平均点は62.7点です。大問別テーマのうしろの数字は、全体の大問別正答率です。個人成績表を見ながら、不得意テーマに対する今後の学習の方針を見つけてみましょう。